

うるま市議会だより

第23号

平成23年(2011)
発行/3月1日



中部市議会議員・事務局職員研修会 (於：沖縄市民会館)

一般質問(12月定例会)

12月定例会には27名の議員が市政全般について一般質問を行いました。本紙面は、「市議会だより」申し合わせ事項により掲載されています。紙面の都合上、簡潔な表現になっております。なお、詳しい内容については市議会会議録を自治公民館、市内図書館、議会事務局、議会ホームページでご覧下さい。

目

一般質問 2

写真の提供について 15

第58回臨時会議決結果 16

次

第59回定例会議決結果 16

■発行：うるま市議会 ■編集：議会広報編集調査特別委員会

住所 〒904-2292 うるま市みどり町1-1-1 電話 098-973-3511 FAX 098-973-8123



- 一 教育行政について
- 二 社会体育施設の整備について
- 三 道路行政について

喜屋武正伸

一 教育行政について

質問 高江洲小学校運動場は雨等で表土が削られて、石が表面に出ている状況で、体育の授業等に支障を来している。今後の整備計画について伺う。

答弁 照屋教育部長 整備後26年が経過し、表面の赤土が流されて、所々、砂利等が浮き出ている。当面の応急処置として早急に赤土の補充をしたい。

二 社会体育施設の整備について

質問 具志川総合グラウンドのフェンスがサビで折れ危険な状態にある。早急に対策を講ずる必要があるが計画を伺う。

答弁 照屋教育部長 フェンス全体の総点検を行い、腐食が著しい箇所については、早急に修繕整備を実施したい。

質問 具志川多種目球技場内、野球場の整備について、今後の整備計画を伺う。

答弁 照屋教育部長 高校総体のサッカー競技場として使用されたことにより、Jリーグや大学等のサッカーチームからキャンプ地と

三 道路行政について

しての声もあり、しばらくの間、サッカー専用競技場として使用していきたい。

三 道路行政について

質問 県道36号線（高江洲地内）の歩道未整備部分の今後の計画及び進捗状況も含めて伺う。

答弁 松田建設部長 現在、地籍測量が完了して、補償物件に関する調査をし、終わり次第、用地及び物件補償の交渉に入る予定である。おむね2月ごろから交渉に入りたいという予定のようである。

質問 県道36号線（喜屋武マープ南方）歩道部分に地下水が流れ出て、滑りやすく危険な箇所がある。通路でもあり、整備の必要があるが計画を伺う。

答弁 松田建設部長 地下水が擁壁の水抜き、あるいは墓地への乗り入れ道路等から出てスムーズに側溝に入らないで歩道に流れ出ている状況にある。県としては、清掃をして、コケを取り除き、地下水が側溝にスムーズに落ちるような改善策を図りたいとのことである。



- 一 うるま市観光物産協会設立について
- 二 パスポート申請業務について

川野進也

一 うるま市観光物産協会設立について

質問 うるま市観光物産協会の要が事務局長だと思うので、公募に関しては、うるま市に興味を持つ方に、全国に発信して公募してはどうか。

事務局長の資格として資金計画ができ、自主財源の確保についてもしっかりと取り組むことができて、そしてマネジメント能力、協会を切り回すくらいの人材でないと協会には成功しないと思う。会長選任については、協会立ち上げのスタートが肝心だと思うので、旧二市二町の歴代の首長に、ひと肌脱いでくれる方を選任してはどうか。事務所についてはイベントの打てる地域交流センターで検討していただきたい。

二 パスポート申請業務について

質問 パスポート申請業務について、4月から市民課の窓口で申請受理できることは、大きな市民サービスにつながることで大変喜んでいて、何日で受け取りができるのか。うるま市の窓口で申請できるのは、うるま市民だけか。添付書類は住民票と戸籍抄本が必要だが、住民基本台帳カードの提示ですむのか。収入印紙と県証紙の販売所を庁舎内に設置できないか。

答弁 登川市民部長 申請日から受け取りまで10日かかる。うるま市に住民登録をしている人や、居住している人。本来外務省の事務で国際間の身元保証及び保護と扶助を要請する最も重要な公文書であるため、申請書は本人確認等はもとより、厳しい書類審査が求められるため、戸籍抄本等は必要となる。収入印紙は本庁舎地下の売店で販売しているが、県証紙については、取り扱えないか調整中である。

上間経済部参事 事務局長に

答弁 上間経済部参事 事務局長については、優秀な人材確保のために広く公募を行うよう設立準備会から要望されるものと思っている。会長については、総会後に正式に理事として就任した方から代表理事を選出し、その方が会長職を担うことになる。事務所の場所については発起人会と予算等を踏まえて、定めていきたい。



金城勝正
きんじょうかつまさ

- 一 字具志川地内バス停留所への屋根付き待合所の設置について
- 二 うるま市定員適正化計画に関連する事項について
- 三 うるま市リゾートウェディングに関連する事項について

一 字具志川地内バス停留所への屋根付き待合所の設置について

質問 関係機関と調整をして前向きに検討して頂きたい。

答弁 登川市民部長 管理を行って関係機関、沖縄バス協会、沖縄県中部土木事務所への申請が必要になるが、まず地域の自治会の意見も伺いながら調査検討していきたい。

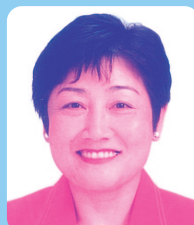
二 うるま市定員適正化計画に関連する事項について

質問 うるま市定員適正化計画における消防署職員の定数削減について、糸満市、豊見城市、島尻消防本部（合併して南城市、八重瀬町も含む）を管轄する3消防署は、逆に職員を増員していると聞いているが。

答弁 真栄喜消防長 糸満市消防本部、島尻消防本部については、増員されている。豊見城市消防本部については、平成23年度に増員を予定しているとのことである。

質問 消防署職員の定数削減について、これまでうるま市と沖縄市を比較してきたが、実際に消防の管轄面積は、沖縄市はうるま市の2分の1ということに間違いはないか。

答弁 真栄喜消防長 軍用地を除く、うるま市の面積が80平方キロで、沖縄市が32平方キロで、概ね2分の1である。



比嘉敦子
ひがあつこ

- 一 行政について
- 二 教育について

一 行政について

質問 ①市民憲章の意義と役割について②制定後の周知と推進活動について伺う。

答弁 当企画部長 ①まちの目標であり、市民と行政が一体となって向かうべき方針を示す。行政のありべき姿と期待される市民像を表現し市の行政運営の方針となるもの。市民が自主的、実践的にまちづくりに参加するための行動規範となるもの。役割については、まちづくりの行動目標であり、親しみやすい日本語で表現することで「まち」に対する愛情の醸成とまちづくりへの参加意欲を持たせること。

②本庁正面玄関横へ銘板設置を行っている。各公民館や施設への銘板設置については、関係部署と調整を図り検討したい。

質問 平成21年11月20日安慶名自治会より要請「安慶名バス停上屋とベンチの設置」について伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 平成23年度に県道75号線沖縄石川線整備工事に着手する。電線地中化に伴う共同溝設置工事を含むので、平成24

年度にバス停上屋及びベンチの設置工事に着手する。

二 教育について

質問 4地域の学習室の確保はどのようになっているのか伺う。

答弁 照屋教育部長 石川地区公民館の第2研修室、与那城地区公民館の図書室において利用がなされている。市立公民館は公民館の目的達成のため、公民館の各種事業等を行うことを目的としており、中央公民館が閉館した状態において更なる学習室の確保は厳しい。

答弁 島袋市長 自習空間の場所の確保について関係部局と調整しながら公的施設の管理運営の中での利用が受けられるのか検討したい。

質問 生涯学習センター（仮称）の建設について伺う。

答弁 照屋教育部長 改築予定の中央公民館の考え方として、うるま市における生涯学習拠点として整備が検討されるものと考えている。

平成24年度から平成25年度にかけて実施設計、事業実施の計画予定。



一 児童館建設について
 二 認知高齢者グループホームへのスプリングクラー設置について
 三 うつ症状を早期に知らせるための支援体制と相談体制について
 四 勝連城跡歴史公園等整備事業の進捗状況について
 五 関牛博物館建設の進捗状況について
 六 与勝地域における給食センター統合の進捗状況について

なかもと たつお
仲本辰雄

一 児童館建設について

質問 旧志川市の中学校区に一つという目標・方針は引き継がれているのか。

答弁 根路銘福祉部長 次世代育成支援行動計画に中学校区単位の児童館整備の記述があり、引き継がれている。

質問 中学校区に設置されている児童館はこの中学校か。

答弁 根路銘福祉部長 あげな、高江洲、与勝、石川、宮城中学校。

質問 中学生の居場所づくりに貢献する児童館を中学校区ごとに設置すべき。

答弁 根路銘福祉部長 公共施設の活用等を視野に入れた計画を検討していく必要がある。

質問 勝連地区に設置することを要望したが。

答弁 根路銘福祉部長 予算措置されたら建設場所等も含めて、調査・検討を行った上で決定する。

二 認知高齢者グループホームへのスプリングクラー設置について

質問 国の補正予算を活用して設置してほしい。

答弁 根路銘福祉部長 今議会の補正予算に補助金を計上。

三 うつ症状を早期に知らせるための支援体制と相談体制について

質問 症状が深刻化する前に相談や治療の勧めなどの支援体制に対する見解を伺う。

答弁 根路銘福祉部長 重要なことであり、事例については、今後の相談業務の参考にする。

質問 相談実務者を対象とした認知行動療法研修の実施を県に働きかけるべき。

答弁 根路銘福祉部長 研修開催の要望をする。

四 勝連城跡歴史公園等整備事業の進捗状況について

質問 進捗状況。

答弁 瀬高都市計画部長 関連部署で情報交換会を開催し、今後のスケジュール、庁内対策等について検討した。

質問 整備に向けた庁内体制は。

答弁 瀬高都市計画部長 市の重要プロジェクトと位置づけ、プロジェクトチームの立ち上げを検討したい。

質問 整備計画の策定時期。

答弁 瀬高都市計画部長 平成24年度をめどに取り組み。

質問 ①ユビダターの沼地を観察する木製の通路を作るべき。②変電所は擬石で取り囲む。③採石場の移転。

④県道10号線からの進入路の確保。

答弁 瀬高都市計画部長 ①自然環境や生態系の保全という観点から、十分検討したい。②沖縄電力の協力依頼も検討。

③補助制度を活用し、関係者と協議していく。④アクセス道路として大変重要であり検討したい。

質問 土産品店の設置ができないか。

答弁 上間経済部参事 観光及び地域活性化の面から積極的に提案したい。

五 関牛博物館建設の進捗状況について

質問 舞天館を博物館に使用できないか。

答弁 上間経済部参事 用途変更は考えていないが、関牛に関する資料展や展示会などに、活用できるか検討したい。

六 与勝地域における給食センター統合の進捗状況について

質問 どのように取り組まれるのか。

答弁 謝敷教育長 老朽化している3調理場を統合し、適正規模の改築計画を進めていきたい。将来的に共同調理場4施設、単独調理場を1施設。

一 東海岸地域のまちづくり(藪地島の有効利用について)

質問 東海岸地域のまちづくり(藪地島の有効利用について)うるま市企画部企画開発係からのアンケート調査が11月に実施された。それを踏まえ当局の現在の進捗状況を伺う。

答弁 当企画部長 東海岸地域のまちづくりの進捗状況について、本市の計画は、現在、旧与那城町で平成14年度に策定された、与那城町東海岸開発構想策定事業調査報告書を元に基本計画策定に向け取り組んでいる。アンケート結果を含め東海岸基本計画策定委員会等において基本計画を策定する予定。

二 防災行政について

質問 防災行政について、屋慶名地域において、津波、高潮における避難場所について、どんな想定をしているのか伺う。

答弁 喜納総務部長 防災行政について屋慶名地域は海抜や標高の低い場所に集落が形成されており、津波災害対策上、警戒を要する地域で津波の際は一刻も早く高い場所へ避難することが重要である。現在、



一 東海岸地域のまちづくり(藪地島の有効利用について)
 二 防災行政について
 三 市道13号線について

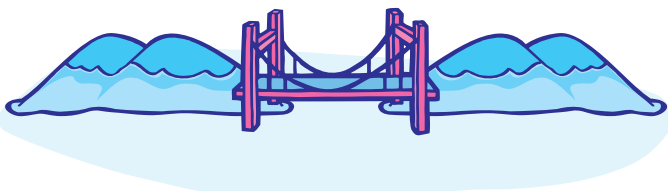
かねもと みつはる
兼本光治

防災担当で、各自自治会に自主防災組織の結成を促しており、各地域の避難路については、地域・地形にあった避難路を検討していきたい。

三 市道13号線について

質問 市道13号線については、旧与那城町時代から要請され、地域住民から「あれからどこまで進んでいるんだろう」との声があるが、現在の状況を伺う。

答弁 松田建設部長 この道路は地権者の同意状況も提示されている状況なので、新年度補正の中で市の道路概略設計を図って、地域の皆さんとの説明会などを経て検討し、実施計画の中に載せていきたい。





まつだ ひさお
松田久男

- 一 新庁舎建設計画について
- 二 市民の安全な生活の為に街灯整備について
- 三 校舎アルミサッシの落下防止点検について
- 四 各種祭りの各地開催の可能性について

一 新庁舎建設計画について

質問 計画の進捗状況と統合庁舎となつた場合の各支所の業務範囲はどうなるか。

答弁 当間企画部長 建設委員会や検討委員会を開催し、市民からの意見聴取を行っている。各支所の扱いについては次年度以降の検討となる。

質問 統合された場合でも地域に不便がないように支所で行うことは支所で処理するようにしてほしい。また整備が終わったインターネットも活用し、なるべく本庁に行かなくても済むような支所を作ってほしい。将来はコンパクトセンターも開設すればなお便利だし、ホームページも活用すれば耳の不自由な人も問い合わせなどが便利になるが。

答弁 当間企画部長 次年度以降の検討委員会の研究課題としたい。

二 市民の安全な生活の為に街灯整備について

質問 11月に石川西地区の路上で女子高生に対する抱き付き事件があった。現場は大型店舗が多いものの住宅がまだ少なく、通行者が多いの場所に於て夜間は真っ暗になる。街灯設置を検討して欲しいが。

答弁 登川市民部長 予算的に増設は厳しいが防犯対策を強化したい。自治会に確認したところ次年度予

算で検討したいとのことである。

三 校舎アルミサッシの落下防止点検について

質問 8月付けで文科省より沖縄県に通過のあった校舎アルミサッシの落下防止点検はその後対応しているか。また沖縄県から市への連絡が大幅に遅れたのは認識が甘いと云える。どこでも起こる可能性があるのでは最後まで確認して欲しい。

答弁 照屋教育部長 本土で事故が頻発したことから通達が出たが、12月に県より連絡があり早速文書で連絡をした。点検の確認も行う。県からの連絡遅れについても確認したい。

四 各種祭りの各地開催の可能性について

質問 うるま祭り、エイサー祭り、獅子舞フェスティバル、産業祭りを4地区ローテーションで行えば各地域の市民に喜ばれるしメリットがある。現在使用している陸上競技場はアンティーク保護の為、出店と会場が分離されて望ましくない。獅子舞などは具志川地区が本場だしエイサーも各地域で行えば年寄りも子供も楽しみやすい。検討して欲しいが。

答弁 上間経済部参事 市内団体を中心とする実行委員会で検討した結果であるが、提案内容については委員会に報告し、検討事項としていきたい。



ひがしひろき
東浜光雄

- 一 観光振興について
- 二 世界遺産「勝連城跡」周辺の環境美化について

一 観光振興について

質問 本市観光振興ビジョンの具体的なプロジェクトを推進する上で、必要な観光基盤となるインフラの整備が進んでない状況にあると思うが。

答弁 上間経済部参事 現在、観光振興ビジョンで示された事業については、実施可能なものについては、それぞれ進捗が図られている。議員指摘のインフラ整備についても、一部勝連城跡周辺整備について、庁内で任意にプロジェクトチームを立ち上げており、平成23年度に向けて正式なプロジェクトとして設置できるよう進めている。

質問 本市は世界遺産である勝連城跡を核とする多くの遺跡や史跡、歴史的な建造物、有形民俗文化財などの名所がある。そこに多くの観光客を誘客していくには、観光資源をより魅力的にしていくなために周辺の立地環境の雰囲気づくりや観光資源等の魅力アップのための機能の充実、周辺環境の整備を図ることや施設に至る経路や駐車場の整備等が早急に必要だと考える。特に駐車場の整備については、沖縄観光

における主な交通手段がレンタカーや貸切りバスの利用によることから、観光地における駐車場の確保は大変重要だと考えるが。

答弁 上間経済部参事 観光地として、駐車場の確保は喫緊の課題と考える。可能な限り事業に向けて、他の事業との調整をとりながら努力していきたいと考えている。

二 世界遺産「勝連城跡」周辺の環境美化について

質問 世界遺産である勝連城をより魅力アップしていくには、世界遺産勝連城にふさわしい城周辺の環境整備と雰囲気づくりは重要不可欠と考える。特に観光客を城へと誘う沿道は観光客を魅了し、心躍らすほどの景観づくりが必要だと考えるが、城へと誘う沿道に花をいっぱい咲かせ、さわやかに城へと誘っていく取り組みが必要と考えるが。

答弁 松田建設部長 観光景観づくりとしては大変すばらしいと考えている。ただ、具体的に実行する場合には道路沿線が狭いこともあり、どのように実行するかというのは県道管理者と協議をしなければならぬと考えている。



- 一 天願川河川工事について
- 二 川崎ルーシー河線市道202号線整備事業について
- 三 うるま市防災行政無線について
- 四 2010年高校総体終了後、サッカー競技グラウンドの維持管理について
- 五 サッカースタジアム誘致について

名嘉山 隆

一 天願川河川工事について

質問 事業の計画と予算の執行状況、進捗状況と今後の計画を伺う。

答弁 松田建設部長 整備計画延長は6515m、事業費144億5千万円、執行率は事業ベースで現在70%である。今後の計画は、平成23年～平成24年度に整備工事を行う予定。平成24年、25年を厚生園付近から川崎付近まで、平成25年～29年にかけて川崎付近から上流にかけて整備予定である。

二 川崎ルーシー河線市道202号線整備事業について

質問 事業の計画と予算の執行状況、進捗状況と今後の計画を伺う。

答弁 松田建設部長 今年度概略設計を実施し、完了後平成24年度以降の防衛省予算獲得のため、調整を図っていく。事業年度は平成24年～28年度に事業着手できればと考える。

三 うるま市防災行政無線について

質問 栄野比区の防音工事の実施状況と防災無線が聴こえ難い現状と対策（有線放送導入）について伺う。

答弁 当間企画部長 栄野比地区約500世帯が実施している。

答弁 喜納総務部長 防音工事が実施された建物内への防災行政無線放送が聞こえにくいことを承知している。有線放送については、整備・維持管理コストなど適切に管理することが困難な方式であるため、個別受信機の方式ではなく、屋外拡声方式を採用している。

四 2010年高校総体終了後、サッカー競技グラウンドの維持管理について

質問 具志川多種目球技場に少年用のゴールがあるか。現状維持は何時までか伺う。

答弁 照屋教育部長 現在少年用ゴールはない。今後整備に向けて検討していきたい。当面はサッカー専用球技場として使用したい。

五 サッカースタジアム誘致について

質問 市としてサッカースタジアム誘致の考え方を伺う。

答弁 当間企画部長 現時点での本市のサッカースタジアム誘致は厳しいものがある。

質問 陸上競技場と併用するスタジアムの位置づけは、県は決定しているか伺う。

答弁 当間企画部長 スタジアムの建設は県知事の公約に掲げているが、現在整備については検討中である。

質問 県はスポーツと芸能と観光の一体化を推進しており、県の事業を行政が市民と一緒に誘致する意気込みを見せて頂きたい。

答弁 当間企画部長 本市も県主体の事業ということについて、引き続き整備の推進をしていく。今後も県の動向について注視していく。

質問 サッカー競技の市長杯について伺う。

答弁 当間企画部長 社会体育課と調整した結果、「市長杯」の名称使用並びに優勝杯の提供を承諾した。

一 道路整備事業について

質問 宮城島の東側の農道が崖崩れで一方通行になっている件について。

答弁 島袋経済部長 海側の崩壊箇所は、平成22年度から平成24年度で事業執行する予定。山側については、平成23年度から平成25年度にのり面保護、擁壁補強工事を行う予定である。

質問 伊計・平良川線の宮城島部分の進捗状況について。

答弁 松田建設部長 県としては、宮城島中央を通るラインを検討している。

一 島しょ地域の活性化・再生化について

質問 農産物の基盤整備事業の内容と、農水産の製造業の工場を誘致できないか。

答弁 島袋経済部長 島しょ地域の基盤整備事業として、集落地域整備統合補助事業、県営農地保全整備事業、漁業環境整備事業を実施している。

答弁 上間経済部参事 島しょ地域についても企業立地の対象地域としてあげているので、企業誘致に取り組んでいきたい。

三 幼稚園臨時教諭について

質問 ①幼稚園臨時教諭の給与等の現状と他市との格差について。②定数枠内での臨時職員採用とその比率と本務教員の採用について③臨時職員待遇改善と他市との水準格差について。

答弁 森根指導部長 ①本市6500円、浦添市6820円、沖縄市7300円である。②今年度は1人採用、



- 一 道路整備事業について
- 二 島しょ地域の活性化・再生化について
- 三 幼稚園臨時教諭について
- 四 仲原遺跡について
- 五 就学援助制度について
- 六 島しょ地域の市営住宅について
- 七 伊計ビーチの護岸の再建について

平 正盛

次年度は3人予定している。③他市の状況等も勘案しながら関係機関と調整の上、待遇改善に努力したい。

四 仲原遺跡について

質問 ①仲原遺跡の復元。②文化財の案内標識等について。

答弁 照屋教育部長 ①7棟のうち1棟については本年度で復元する予定。駐車場については県や文化庁と調整したい。②案内標識や説明板は本年度に設置を予定している。

五 就学援助制度について

質問 本市の準要保護に対する認定基準や給付水準と就学援助制度の充実化について。

答弁 森根指導部長 今年度以前年度支給できなかった学用品費を復活支給している。

六 島しょ地域の市営住宅について

質問 島しょ地域の市営住宅を早期に建設してほしい。

答弁 松田建設部長 市の財政状況、既存団地の建て替え計画なども考慮しながら、事業年度、建設戸数等について検討していきたい。

七 伊計ビーチの護岸の再建について

質問 護岸の崩壊対策の基本的な方向性ができないか。

答弁 松田建設部長 県の海岸防災課も現地調査を行ったが、背後に住宅や公共施設等の重要な施設が無いため、海岸保全としての採択基準に合わないので厳しいとの回答があった。 ※他に「伊計集落の津波対策について」質問しました。

一般質問



一 建築確認について

石川 眞 永

一 建築確認について

【質問】 1979年と1985年に旧石川市で建築申請を行い、沖縄県中部土木事務所が建築確認を得た住宅が2戸ある。山城地域の方々は宅地として土地を求め、住宅建築をしたい旨、建築指導課に相談したが、保留されている。その理由を伺う。

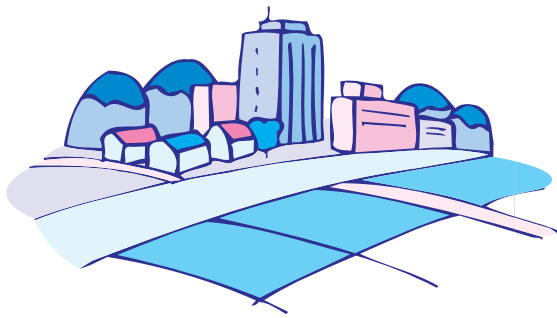
【答弁】 瀬高都市計画部長 相談のあった建築予定敷地の前面道路は、建築基準法上の道路に該当せず、現状のままでは建築確認できない。当該敷地の接する道路沿いには2戸の住宅が沖縄県中部土木事務所の建築主事により建築確認がなされている。地権者の立場では以前は建築確認がなされ、今回は建築確認ができないことに疑問が生じていると思う。道路は、幅員が4m以上あるものが前提となっている。

【質問】 道路の拡張工事の見積もりを土木業者に出したら、一千万円以上かかるとのこと。道路に要する土地は地権者が提供して、市で工事をお願いしたい。地権者としては、生涯が造れないが。

【答弁】 瀬高都市計画部長 平成11年の法律改正により、以前建築確認が

とれた場所に建築確認が受けられなくなつたという不利益を受けることであり、指摘の件については理解できる。この場所が全く建築確認が受けられないということではない。地権者、設計者、建築指導課と十分話し合いを行う中でベストな解決策が出てくるものと考えている。

※他に「各選挙の投票率について」「石川多目的ドームの駐車場問題」について質問しました。



- 一 うるま市内の観光コースの策定について
- 二 中央公民館の建設について
- 三 学校適正配置について

名 嘉 眞 宜 徳

一 うるま市内の観光コースの策定について

【質問】 将来、観光地として十分その価値があると思われる場所を伺う。

【答弁】 上間経済部参事 うるま市観光ビジョンでは、自然、文化財、史跡、景勝地等数多く示されている。

【質問】 市民や観光団がわかりやすい観光コースの策定について伺う。

【答弁】 上間経済部参事 観光地域、観光コース、観光地の整備については、推進体制の中で特に観光物産協会等を中心に事業展開を進めていく。

二 中央公民館の建設について

【質問】 今の予定では、まる4ヶ年間公民館が無い状態が続く事になる。一日でも早く、供用開始ができるように進めることはできないか伺う。

【答弁】 照屋教育部長 平成23年度から25年度においての事業採択が内示されており、生涯学習の拠点施設として、極力、早期整備に向けて努力する。

三 学校適正配置について

【質問】 鳥しよ地域の学校統廃合について、地元住民の理解を得るための視察等の計画を伺う。

【答弁】 高安指導部参事 学校統合を

実施している、県内、県外の先進地の教育委員会や学校を視察する予定である。参加対象者は保護者、地域の方々を考えている。

【質問】 答申をした教育振興委員会には、地元の代表は何名入っていたのか伺う。

【答弁】 高安指導部参事 鳥しよ地域の市民として1名、鳥しよ地域の学校関係者が1名である。

【質問】 特色ある学校をつくることも一つの選択肢として取り上げ、素案の若干の見直しをしていくことも一つではないか。

【答弁】 高安指導部参事 特色ある取り組みとして、市単独事業として英語特別授業の導入や算数と数学の強化のための教員補充を考えている。その他、スクールバスの導入等を考えている。

【質問】 学校の跡利用についても同時に示すことはできないか伺う。

【答弁】 高安指導部参事 地域の活性化につながる学校の跡利用については、後期実施計画、平成23年度から25年度までに取り組む計画である。



八七六五四三二一

国保問題について
待機児童の解消について
地産地消推進本部の設置について
学校統廃合問題について
宇志川環状線道路(宇志川環状線)の道路整備について
基地区域の問題(危険)箇所について

田中直次



一 天願区で起きた水難事故について
二 防犯ネットワークについて
三 天願川の整備について
四 道路整備について

平良榮順

一 国保問題について

質問 国保の保険税について、引き上げるべきではない。

答弁 登川市民部長 (引き上げについては)今後、検討すべきではないかと考えている。

二 待機児童の解消について

質問 待機児童の解消計画は。

答弁 根路銘福祉部長 平成23年4月に40名の定数増、認可化移行事業にて60名の定員2園の法人保育園創設にて120名の定数増を予定しており、平成24年4月時点で待機は解消されるものと思われる。

三 地産地消推進本部の設置について

質問 うるま市の農業や漁業などの振興発展、地産地消推進向上のために推進本部を設置してほしい。

答弁 島袋経済部長 地産地消推進本部の設置については、今後の検討課題とさせていただきます。

四 学校統廃合問題について

質問 学校統廃合のめどがこれから。跡地利用も提示できない。計画の白紙撤回を。

答弁 高安指導部参事 地域住民との説明会、意見交換会、視察等を取り組む計画であり、白紙撤回は考えていない。

五 市道10-12号線(宇志川)の道路整備について

質問 昆布(地域)の市道だが、道路の状態が大変悪い。この道路の整備計画について何う。

答弁 松田建設部長 防衛省補助による事業中の昆布栄野比線道路整備事

業が平成25年度完了予定であり、事業完了後、本路線を防衛局補助により整備していく計画で現在検討しているが、沿線は一部軍用地と隣接している箇所もあり、黙認耕作地やゲートポール場として利用されているが、沿線地権者の同意状況も踏まえて整備計画を進めていく予定である。

六 宇志川環状線道路(県道224号線)の道路整備について

質問 県道224号線(宇志川環状線)、川崎の御山ぬ川橋から県道8号線までの整備計画について何う。

答弁 松田建設部長 平成23年度に工事を完了する予定で、平成24年度までは供用開始を行いたい。

七 基地問題について

質問 PAC3(パトリオットミサイル)がうるま市の首長の家の近くに設置したことについて何う。

答弁 島袋市長 うるま市長の自宅の近辺ということとはともかくとして、うるま市集落、ましてや市民の住宅近くで設置をされたということについては、平時の演習とはいえ、市民の不安をおおるものである中で、まことに遺憾ということと考えている。

八 うるま市の問題(危険)箇所について

質問 川崎地域の問題箇所について、早急に対策したいと検討している箇所は。

答弁 松田建設部長 キャンプ・マクトリアス沿いの雨水幹線の前(メゾンみやぎ前)のフェンスについては早急に設置していきたい。

一 天願区で起きた水難事故について

質問 今後の事故防止のための市当局の取り組みについて何う。

答弁 喜納総務部長 各学校で安全教育の徹底、危険箇所マップ作成、各自治会に地域の危険箇所の情報提供を依頼し、整理し、対応を検討したい。

二 防犯ネットワークについて

質問 「じんじん」をPTTA、学校、自治会、事業所、個人を網羅したネットワークをつくり、情報が瞬時に保護者等に共有、対応することで、子供たちにとって安心、安全な地域づくりができるものと考えているが。

答弁 森根指導部長 事前に登録した保護者の携帯電話に一斉にメールを送るシステムである。

三 天願川の整備について

質問 天願橋下流の米軍施設提供地内河川の整備について何う。

答弁 松田建設部長 平成23年度から24年度にかけて整備をしていく予定ということである。

四 道路整備について

質問 宇志川「喫茶薔薇園」前(パイプライン道路)排水路工事の予定を何う。

答弁 当間企画部長 米軍に対して整備を求めていく。市民の生活道路としての役割もあることから、関係機関と協議しながら対応策を検討する。

天願区から市長宛「危険箇所」の対応策について(要請)が出されているが取り扱いについて何う。

答弁 松田建設部長 側溝のふたと柵の設置という事で要請された。300ミリを超える側溝は早急に対処したい。ガードレールは本年



しもじょう まさる
下門 勝

一 社会教育行政について
二 環境行政について

一 社会教育行政について

質問 勝連B&Gセンターは時代を担う子供達の心と身体の育成をはじめ、地域の皆さんの健康づくりの拠点として長年親しまれてきた施設である。しかし昨今、老朽化に伴い屋根の腐食による雨漏れ、床や壁等の腐食、プールの水漏れもあり、早急な補修工事が必要と考えるが所見を伺う。

答弁 照屋教育部長 勝連B&Gセンターは市民の健康増進施設として幅広く活用されている。早急に施設の総点検をし、補修整備を行っていききたい。

二 環境行政について

質問 勝連南風原7班一帯は生活排水を流す排水路(溝)が未整備である。そこは県道10号線に向かって傾斜のある住宅地で、排水路が整備されていないために、やむなく生活排水が垂れ流し状態になっているのが現状である。素掘りの側溝も少しはあるが、上流から下流に至るまでに他人の畑や敷地などに流れ込むなどの被害もあり、生活を営む中で環境衛生上も好ましくない環境となっている。そのような事が

要因となつての近隣住民同士のトラブルも度々あるなど、様々な問題が起こり困っている。南風原自治会からの要請もあり、行政の責務として、早急な整備を要請するが、当局の所見を伺う。

答弁 松田建設部長 維持管理の面から即対応できる箇所については対応を行う旨、今年度ではできない部分については、次年度対応する旨の内容と、設計業務、工事に多額な費用を要するものについては、今後実施計画において検討していく旨の内容で回答しているところである。

答弁 島袋市長 総合的な見地からも、行政として、何らかの解決を図っていく努力をしていく必要があると思つているので、早速私も現地調査を行い、担当部署と連携しながら解決に向けて今後とも努力をしていく。

※他に「教育行政について」「福祉行政について」「保護司会事務所について」質問しました。



おおや せいぜん
大屋 政善

一 市景観条例について
二 学校統廃合について
三 伊計・平良川線について

一 市景観条例について

質問 ①地域説明会で、市景観計画案では、市全域を対象地域に指定し、11m以上の建物は建築できないよう高さ制限をする事になるとの説明があるが、何故11mなのか。また制限されるものは建物の高さだけか。②景観計画が実施された場合、本市の地域開発に大きな足かせになる部分が出てくると思うが。③景観条例はいつ頃議会提案するのか。また景観計画はいつ頃決定するのか。

答弁 瀬高都市計画部長 ①市全域を対象とするが、市内全域一律に基準を定めているわけではなく、土地利用の特性に応じてエリア分けをし、基準を定める。建物の高さに関して現状でも低層を中心に町並みが形成されていることを踏まえ、一般住宅地並みの11mで誘導していく。景観形成基準は、高さ以外に市の景観を調和するための色彩基準や、緑化基準等がある。②景観計画を策定することで、本市の地域資源や観光資源でもある美しい景観を守ることができる。③条例は平成23年の2月定例会に提案予定。景観計画も平成23年の3月末に制定予定。

その後何回もたれたか。また理解は得られていると思うか。②原案の修正もあり得るか。③学校統廃合案の市議会への提案はいつ頃か。

答弁 高安指導部参事 ①地域住民との話し合いは、7回開催。児童生徒のためにより良い教育条件や教育環境を整備する趣旨については、理解は得られていると考える。今後、中学校校区の保護者や4鳥学校存続協議会を対象に開催していく予定。②素案にある平成23年4月の統合は難しいと考える。実施時期等については、早めに検討したい。

③議会に上程する場合、まず教育委員会において、現在の素案を成案に決定。次に市立学校設置条例改正案に対する教育委員会の意見について決定。市長は、教育委員会の意見を受けて、議会への上程を決定する段取りになる。

三 伊計・平良川線について

質問 実施設計及び工事着工の時期について伺う。

答弁 松田建設部長 ルートが決定次第、事業採択後に実施設計を行い、用地交渉、工事着手となるが、現在、具体的な時期については示されていない。

二 学校統廃合について

質問 ①地域住民との話し合いは、



一 爆音の実態調査について
 二 川崎小学校体育館改築について
 三 川崎区への街区公園の早期整備について
 四 児童の就学前の医療費、中学校卒業までの入院費無料化について

またよしのりひさ
又吉法尚

一 爆音の実態調査について

質問 コンタ線引きの見直しについて伺う。

答弁 当間企画部長 沖縄防衛局に確認したところ、現時点では具体的な通達の時期などに関する情報はないとのことであった。市の立場と考え方は、基本的に防音工事の対象地区の拡大、次に対象時期の見直しとあわせて、現在実施している嘉手納飛行場周辺の測定地点の拡充と騒音被害の実態解明、そういったものをこれまでもずっと求めているところである。引き続き、関係機関と連携を図りながら、この件については国に強く要請していきたいと考えている。

質問 騒音測定器の購入と調査について伺う。

答弁 当間企画部長 新年度予算で携帯型の測定器を1台購入する予定で予算調整を進めている。

二 川崎小学校体育館改築について

質問 設計に関して、地域住民の意見要請等を取り入れられないか伺う。

答弁 照屋教育部長 学校当局とのヒアリング等を中心に計画を立ててきている。その中において、地域住民の声も入っているかと存じている。

質問 シャワー設備の充実した地域交流のできる体育館にできないか。幼稚園児が上履きを脱ぐこともな

く、直接体育館に移動できるよう屋根付の渡り廊下の建設もあわせてできないか伺う。

答弁 照屋教育部長 シャワーは現在のところ予定はしていないが、渡り廊下については、計画に入っている。

三 川崎区への街区公園の早期整備について

質問 具体的整備計画について伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 平成23年度に概略設計を行い、沖縄防衛局と事業実施に向けて調整を図っていく計画をしている。その後、平成24年5月までには、沖縄防衛局へ事業計画書の提出を行い、事業の認可を受ける予定をしているところである。

質問 児童の就学前の医療費、中学校卒業までの入院費無料化について

質問 県内11市のうち、県の基準どおり実施している市は、うるま市を含む3市しかない。一刻も早く制度、基準の見直しを検討できないか伺う。

答弁 根路銘福祉部長 今後近隣の市町村と研究会等を通して、連携をしながらより良い方法を模索していきたいと考えており、財政当局とも調整を行いながら、今後とも進めていきたいと考えている。

質問 根路銘福祉部長 今後近隣の市町村と研究会等を通して、連携をしながらより良い方法を模索して

いきたいと考えており、財政当局とも調整を行いながら、今後とも進めていきたいと考えている。



一 公共施設整備事業の執行状況について
 二 公共施設(建築物関係)の維持管理計画について
 三 こどもゆめプランについて

こうちまさかず
幸地政和

一 公共施設整備事業の執行状況について

質問 平成17年度から平成21年度までの公共施設整備事業の執行額等について伺う。

答弁 当間企画部長 普通建設事業の決算総額で約54.3億円。

質問 公共施設整備事業計画の未執行及び未採択事業等について。

答弁 当間企画部長 平成22年度の要望は19.9事業で11.1億円。採択事業は11.1事業で9.2億円。不採択事業は8.8事業で19億円。

質問 公共施設整備事業の前倒し、追加事業の方針、考え方について伺う。

答弁 島袋市長 事業の追加、前倒しの実施は、ハード事業、ソフト事業、国の経済対策等を含め、積極的に活用したい。

二 公共施設(建築物関係)の維持管理計画について

質問 年次別維持管理計画及び維持補修費等の予算計上方針について伺う。

答弁 喜納総務部長 今後、年次別維持管理計画を策定し実施に努める。維持補修費は例年一定金額を予算措置している。

質問 年次別維持管理計画に基づき、毎年度十分予算計上することが、国のいう善良な管理であり、耐用年数を維持できると思うが。

答弁 喜納総務部長 公共施設の維持管理については、提言のとおり認識している。財源的事情があり、必要に応じて対処しているのが現状である。

維持補修費は例年一定金額を予算措置している。

質問 施設管理者で東山団地の共益費を負担できないか。又、階段の手すりの設置について伺う。

答弁 松田建設部長 共益費は供用施設の維持管理費用であり、条例で入居者の負担義務となっている。手すりの設置は平成23年度市営住宅長寿命化計画の中で検討したい。

質問 赤崎団地の廃家電や粗大ごみの対処について伺う。

答弁 松田建設部長 廃棄者が自主的に撤去しない場合は、強制執行も行っていい。

質問 石川前原団地の集会場天井等の電気器具の破損について伺う。

答弁 松田建設部長 修繕は安全性及び管理上の観点から対応している。天井仕上げ剤は撤去を検討している。

質問 長田団地のコンクリート剥離について伺う。

答弁 松田建設部長 B棟の剥離は危険な状況ではない。次年度長寿命化計画策定の中で対応していきたい。

三 こどもゆめプランについて

質問 こどもゆめプランの行動計画基本施策の執行体制について伺う。

答弁 根路銘福祉部長 次世代育成支援対策推進協議会、検討委員会、作業部会を設置して推進している。

質問 行動計画の目標達成について伺う。

答弁 根路銘福祉部長 次世代を担う児童の環境改善のため、全庁体制で進める。



宮里朝盛

- 一 教育行政
- 二 幼稚園教育の制度改善等について
- 三 合併協議会において合意された一般職の給料格差は正について

一 教育行政

【質問】 教職員の県独自の勤務実態調査と本市の実態について伺う。

【答弁】 森根指導部長 本市の勤務実態も県と同じ傾向（時間外勤務、家庭への業務持ち帰り、休日勤務、休憩時間も生徒の安全管理上とれない等）である。多忙化解消のためノー残業デー、ノー部活デー等に取り組んでいる。

二 幼稚園教育の制度改善等について

【質問】 幼稚園臨時職員の待遇改善について伺う。

【答弁】 森根指導部長 現在日額6500円を平成23年度から6700円に増額改定を検討している。幼稚園教諭の本務率は現在74%だが、幼稚園振興プログラムにおいて平成24年度までに80%を目指して取り組んでいる。学者ロバート・フルガムが「人生のほとんどを幼稚園で学ぶ」と言われている。その視点から幼稚園教育の重大さ、幼稚園教育に一番重要な幼稚園教諭の大切さは十分理解している。最大限努力し、子供たちの豊かな人間性の育成に努めていく。段階的に本務採用率を高めていくよう努め、平成23年度は1人増の3人を採用予定している。

三 合併協議会において合意された一般職の給料格差は正について

【質問】 市職員より沖縄県人事委員会へ給料格差是正を訴えた経緯と市当局の対応について伺う。

【答弁】 喜納総務部長 市職員より給料格差の不服申し立てが沖縄県人事委員会にあり、確認のため職権での調査、照会が5回あった。給与格差については市議会において、さまざまな議論があり、沖縄県人事委員会からの勧告を真摯に受けとめ、勧告に沿った対応を行う。勧告書の結論は、「うるま市の昇格基準号級等と比べて不均衡があり、合理的理由が無く、当局が附則第5項による調整を行っていないことは、当局の裁量権の行使の内容が、給与条例に抵触するものと思慮され、平等取扱及び職務給の原則に照らし、妥当性を欠くものであり、当局は速やかに調査を行い、是正を図る必要がある。」との内容。対象者の数は確認中で把握していないが、実施時期は平成23年1月実施を目標にしている。



奥田修

- 一 サウジアラムコ社との共同プロジェクト基本合意について
- 二 安心安全な住環境の整備について
- 三 地産地消促進について
- 四 社団法人うるま市観光物産協会設立について

一 サウジアラムコ社との共同プロジェクト基本合意について

【質問】 受け入れ先の進捗状況と本市への財源効果を伺う。

【答弁】 上間経済部参事 年度内に原油備蓄開始を目指し調整中。備蓄交付金は1億3000万円余。特別とん税は外国貿易船の純トン数、入港回数はおろからないが、単純試算で1200万円となる。

二 安心安全な住環境の整備について

【質問】 安全確保について、①南西石油の重油流出事故の原因と本市への影響。②防災対策と連絡体制の再確認の必要性は。

【答弁】 喜納総務部長 ①調査中であり、本市への被害報告は受けていない。②3年に2回のペースで防災訓練を行っている。

三 地産地消促進について

【質問】 本市の危険箇所調査状況と対策は。

【答弁】 喜納総務部長 12月7日時点で28自治会から115箇所の情報提供がある。優先順位を定めて対策を検討する。

四 社団法人うるま市観光物産協会設立について

【質問】 平安座区要請事項について、地区コミュニティ防災センターの役割は。

【答弁】 喜納総務部長 自治会や防災活動に中核的な役割を果たす施設である。【質問】 快適な活動をするための空調設備に対する見解は。【答弁】 喜納総務部長 協定書の第8条の規定に含まれ、管理者が必要とあれば設置可能。他市町村の事例を確認し検討する。

【質問】 市道18号線、集落入口から学校間の歩道設置、学校ブロック塀の整備の見解を伺う。

【答弁】 松田建設部長 概略設計業務を進め、国、県との協議を進める。教育委員会とも協議し安全管理を図る。

二 地産地消促進について

【質問】 ①市の施設に設置された清涼飲料水の自動販売機の台数と契約内容。②地元産の飲料水を納入する考えはないか。

【答弁】 喜納総務部長 ①176台で設置許可と契約書による締結である。②可能な限り地元産の納入をお願いしていく。

三 地産地消促進について

【質問】 公正・公平・競争の原理から入札に移行する予定はないか。

【答弁】 喜納総務部長 費用負担の回収に見合う時期に至った段階で検討する。

四 社団法人うるま市観光物産協会設立について

【質問】 行政側はどの様に取り組んでいくか。また今後の大きな課題を伺う。

【答弁】 上間経済部参事 話し合いに加わり側面支援を考えている。協会運営の財源確保が挙げられ、協会設立までに方針を定める。

【質問】 うるま市長杯ハリーデー大会を同協会設立記念事業として取り組めないか。【答弁】 上間経済部参事 事業計画を検討するなかで提案していく。



- 一 福祉行政について
- 二 教育行政について
- 三 中小企業振興について

伊盛サチ子

一 福祉行政について

質問 乳幼児医療無料化の就学前までの実施と中学卒業までの入院費無料化について

答弁 根路銘福祉部長 県内市町村では、入院、通院どちらかでも県基準を上回る助成をしている市町村が22カ所。県と同じ基準は19市町村。制度の拡充には費用負担が伴う。厳しい財政状況で対応できるかどうか今後、財政当局とも検討していきたい。

質問 勝連地区への児童館建設の取り組みは。

答弁 根路銘福祉部長 実施計画を平成23年に要望。予算措置ができれば、調査、検討の上、建設場所が決まったら、平成24年度実施設計と建設予算を要望する。

二 教育行政について

質問 ①前期実施計画当初素案の統合は困難となった。合意形成を図る意味でも白紙撤回を求める。②通学区の見直し対象小中学校とは。

答弁 高安指導部参事 ①素案に基づき、住民への説明会、意見交換会を継続して取りこんでいる所。撤回は考えていない。②教育振興推進委員会からの提言では、高洲小区域の川田区域の一部を南原小へ。あけな中学校区域栄野比地区の一部を伊波中へ。与勝中学校区域の与勝第二中に隣接する勝連小及び与那

城小区域の与勝第二中への見直し。その他の区域についても弾力化を図っていく。

質問 島しょ地域の老朽化校舎の改築優先順位は。

答弁 照屋教育部長 学校適正配置計画とも関連することから、当面は現状維持しながら、連動し対応していく考えである。

質問 ①大雨で増水した側溝で尊い命が失われた。事故現場には迅速な対応で改善が図られてきた所であるが、このような事故が二度と起きないようにするためにも、徹底した安全対策の強化を図り、早めの改善を求める。②教育委員会独自のパトロールについて。

答弁 松田建設部長 ①平成23年度において、その対応費、工事費も含めて、増額をしながら検討していきたい。

答弁 森根指導部長 ②危険箇所に対するパトロールについては、安全パトロールを定期的に行っているところ。

質問 ①前期実施計画当初素案の統合は困難となった。合意形成を図る意味でも白紙撤回を求める。②通学区の見直し対象小中学校とは。

答弁 高安指導部参事 ①素案に基づき、住民への説明会、意見交換会を継続して取りこんでいる所。撤回は考えていない。②教育振興推進委員会からの提言では、高洲小区域の川田区域の一部を南原小へ。あけな中学校区域栄野比地区の一部を伊波中へ。与勝中学校区域の与勝第二中に隣接する勝連小及び与那

三 中小企業振興について

質問 小規模工事等契約希望登録制度の実施状況について。

答弁 瀬高都市計画部長 登録件数は、平成22年3月時点で30件。実施状況は建築工事課6件、社会教育課4件、施設課19件、保育課4件、合計で33件、473万3124円。



- 一 待機児童解消について
- 二 介護保険料改定について
- 三 経済環境について
- 四 公共工事及び民間工事の磁気探査について
- 五 教育環境について

中村正人

一 待機児童解消について

質問 安心こども基金の前身について伺う。

答弁 根路銘福祉部長 待機児童解消策の一つとして、既存の認可保育所の老朽化による増改築事業を実施し、平成21年度に30名、平成22年度は40名の定員増を計画し事業を進めてきた。

質問 安心こども基金の活用方法を伺う。

答弁 根路銘福祉部長 施設の増改築を優先し、老朽度等も考慮して実施していく。

二 介護保険料改定について

質問 対策及び方向性について伺う。

答弁 根路銘福祉部長 平成23年度当初予算で不足額を3億円見込んでいる。第四期介護保険事業計画での介護保険料の設定で、見込みより保険給付が伸びたため、予算に不足が見込まれた。介護保険を取り巻く状況は厳しいものがある。

三 経済環境について

質問 企業誘致対策及び予算と次年度に向けての取り組みを伺う。

答弁 上間経済部参事 中城湾港開発推進協議会と連携を図り、中城湾港新港地区や特別自由貿易地域への企業立地を積極的に行なう。平成22年度は企業誘致関連で負担金292万円、創・操業支援事業945万円、ソフトウェア人材養成事業2500万

円、金型人材養成事業2500万円など総額1億円程度の誘致活動費を使っている。平成23年度に向けて国・県・庁内等と調整を図る。

質問 磁気探査の実施状況と現状を伺う。

答弁 喜納総務部長 公共事業における不発弾探査は、平成21年度が12件、今年度は9月末時点で3件である。

質問 過去に石川地域で5216件、具志川地域で5999件、与那城地域で541件、勝連地域で673件の不発弾の報告がある。今後の公共工事及び民間への対応を伺う。

答弁 瀬高都市計画部長 沖縄不発弾等事前調査データベースシステムによる過去の発見状況の確認と周辺地域への聞き取り調査等により、不発弾が残っていることが否定できない場合に実施している。今後は磁気探査の実施率を上げるよう検討する。

質問 うるま市の子ども育成プロジェクトについて伺う。

答弁 森根指導部長 学校教育は「生きる力」と称して知・徳・体の調和のとれた人間の育成を目標としている。国・県の教育施策を踏まえ、指導行政プロジェクトを作成し「自信と誇りを育てる教育の推進」ということで、学校教育の充実を指導・支援している。



田仲康和

- 一 中城湾港新港地区にある多目的広場の整備について
- 二 耕作放棄地の現状と課題について
- 三 本市の観光振興に重要な「美ら島オキナワ・センチュリーラン2010」について

一 中城湾港新港地区にある多目的広場の整備について

質問 沖繩市側には多目的広場「海邦公園」が整備されているが、うるま市側に整備されていない理由は、

答弁 上間経済部参事 沖繩市、うるま市と分けた考えではなく、新港地区全体を網羅した緑地や公園整備となっている。

質問 市民からの要望はなかったのか。

答弁 上間経済部参事 要望はなかった。沖繩市にある美里公園の利用状況からも明らかのように、メタボ大国になった我が国の全国的な健康志向の高まりを当時予測できたのか。

質問 上間経済部参事 現在のような社会状況や健康志向の高まりは予想できなかったと思う。

質問 雇用促進や市民の健康増進の為に、早急な多目的広場の整備を望むが。

答弁 上間経済部参事 多目的広場の整備は、雇用促進や企業誘致のインセンティブとして、多目的な活用などで地域の活性化に大きく寄与すると思われる。

答弁 島袋市長 魅力ある港湾地区として、長期的な視点から社会経済の変化、市民の健康志向の高まり等のニーズも含め、鋭意検討したい。

二 耕作放棄地の現状と課題について

質問 増加する耕作放棄地対策の具体的な取り組みを伺う。

答弁 島袋経済部長 耕作放棄地の再生・利用や、これに付帯する施設等の整備を総合的に支援する耕作放棄地再生利用緊急対策事業を実施している。

質問 換金性の高い作物を選定し、流通経路を確保しないと農業は衰退しないか。

答弁 島袋経済部長 換金性の高い作物を産地指定するなど流通経路を確保し、消費拡大、販路拡大に努めることが重要と考えている。

三 本市の観光振興に重要な「美ら島オキナワ・センチュリーラン2010」について

質問 うるま市を全国的に売り込む千載一遇のチャンスだったと思うが。

答弁 上間経済部参事 大会が始まったばかりであり、第2回目に向け今後検討したい。

質問 参加者の中には、ANAのパイロットやキャビンアテンダント、俳優の鶴見辰吾夫妻の姿もあった。海

中道路をメイン会場に島しょ地域を網羅したサイクリング道路を整備し、全国から参加者が集う、うるま市の観光振興に力を注がないか見解を伺う。

答弁 島袋市長 参加した方々から、うるま市の島しょ地域、海中道路のサイクリングは最高だったというコメントが寄せられ喜んでいて。島

しょ地域の観光振興、うるま市の物産のPRも含め、この島の魅力を最大限発信できるイベントに育てたい。



仲程孝

- 一 赤道小学校について
- 二 中央公民館建設について
- 三 道路行政について
- 四 市道108号線の歩道設置について

一 赤道小学校について

質問 赤道小学校の全面改築と防水工事、台風時の教室への雨水侵入について伺う。

答弁 照屋教育部長 全市的に校舎改築の状況を見た場合、赤道小学校よりもさらに老朽化が著しい校舎が多数ある。このような状況から現在のところ老朽化が著しい学校の校舎整備を優先しているところ

である。校舎の防水工事については早急に亀裂調査を実施し工事を施工したいと考えている。また、台風時の水浸しの原因についても早急に調査し、対策を講じたいと考えている。

二 中央公民館建設について

質問 中央公民館基本計画検討委員会の進捗状況、建設位置、事業規模について伺う。

答弁 照屋教育部長 平成23年度において仮称「建設に関する基本計画検討委員会」の立ち上げ及び同委員会による基本計画の策定、あわせて基本設計の実施を予定。平成24年度から平成25年度にかけて実施設計、建築工事を予定している。仮称「基本計画検討委員会」の中において、基本的事項が検討・集約され、建設位置、事業規模、機能等が決定

されるものと考えている。

三 道路行政について

質問 赤道73011番地周辺の変則十字路の整備と県警に上申後の状況について伺う。

答弁 登川市民部長 当該道路の管理は沖繩市になっており、横断歩道の設置箇所が決定すれば歩道の切り下げ工事を行い、横断歩道を設置することになっていると伺っている。但し、信号機については近くに既設の信号機があるため、設置は厳しい状況にあるとのこと。

四 市道108号線の歩道設置について

質問 市道108号線(兼筒段)の歩道設置及び交差点付近の部分改良について伺う。

答弁 松田建設部長 現在進めている兼筒段4-14号線の事業が平成24年度までかかりそうな状況なので、その後の改良を検討したい。また、交差点付近の部分改良というの

も、やはり事業としてはそれなりにかかるので、現在すぐその部分だけを部分改良するということは厳しい。

建設位置、事業規模、機能等が決定



一 東海岸開発基本計画策定事業について
二 選挙公報等について

ながたまえ
永玉 榮

やすし
靖

一 東海岸開発基本計画策定事業について

質問 何を基本として東海岸開発基本計画策定をされているのか。

答弁 当間企画部長 旧与那城町で平成14年度に策定された与那城町東海岸開発構想策定事業調査報告書を基本として取り組んでいる。

質問 屋慶名地区の活性化策は道路整備事業や密集住宅地の住環境改善。敷地島の開発は筆界未定、地籍整備。ジャーネーガマの自然歴史公園、観光施設、農業施設については水道管の敷設工事、農業用水の確保についてはどのように考えているのか。

答弁 当間企画部長 課題解決には地権者の理解と積極的な協力が必要不可欠で、課題解決に向け方策を探っていききたい。

二 選挙公報等について

質問 市議会議員選挙で、選挙妨害ともとれる中傷ビラが文書頒布されて、地域の風紀が乱れた。中傷ビラを頒布した者の善悪をわきまえない行動は何とも恥ずべき行為である。中傷ビラによって嫌な思いをし、精神的苦痛を与えられ、大人のいじめとも言える行為と考える。大人が善悪をわきまえない世の中

で子供たちのメールや言葉でのいじめがよくならないことにも関係しているのではないだろうか。子供たちの心を育成していく上でも大人が善悪を十分に踏まえた行動をしなければならぬ。誹謗中傷したビラが頒布、配布された行為に対し、選挙管理委員会はどのような対応措置をされたのか。

答弁 山城選挙管理委員会事務局長 警察の方で判断し、取り締まるものと認識し、平成22年10月18日にうるま警察署へ通報している。

質問 公職選挙法の正しい選挙を実施する上でも選挙公報条例を制定し、有権者へ選ぶ判断材料として役立ち、選挙に興味を持ってもらえる。又、悪質な選挙妨害や景観を損なう文書、凶画の防止になると考えるが、行政としての意向を伺う。

答弁 山城選挙管理委員会事務局長 選挙公報は有権者に対し候補者の政見等を伝える有効なものなので、予算措置、条例などの状況を見ながら前向きに検討したい。

答弁 当間企画部長 選挙管理委員会の方で予算の要望等があれば、中身を含めて予算編成の中で精査して検討したい。



一 市営住宅家賃未納について
二 農業行政について
三 塩屋地内の排水路拡張について

とくだまさのぶ
徳田 政信

一 市営住宅家賃未納について

質問 平成21年決算で市営住宅家賃未納額が1億2700万円余りとなり、年々増加していると考えられるが、次の点について伺う。①家賃未納者数について。②最高未納額について。③これまで2回提訴しているが、その成果は。④指定管理後の状況は。

答弁 松田建設部長 ①平成22年12月6日現在の状況は、金座団地23名、長田団地32名、豊原団地10名、塩屋団地21名、安慶名団地42名、安慶名店舗4名、石川前原団地20名、新開地団地7名、赤崎団地21名、東山団地113名、東山第2団地6名、石川中央団地23名、石川中央店舗4名、平安座団地10名、伊計団地2名、計338名。②最高未納額は510万円。③提訴については市の全面勝訴で3件については強制執行で、5件すべて明け渡し完了している。④当年度分の滞納額を増やさないよう努力しており、その分の成果はある程度出ている。

二 農業行政について

質問 ①各土地改良区、組合等への補助金の内訳は。②兼箇所改良区だけ補助金が交付されていない理由は。③廃ビニール等の処理について他市町村では助成金が出され

ていると思うが。

答弁 島袋経済部長 ①石川土地改良が395万4000円、与那城が895万円、与勝地下ダムが1071万7000円②兼箇所改良区については市補助金制度に関する指針に基づいて検討したところ、補助金交付は厳しいものがある。今後は再点検及び補修等が発生した場合に、市が拠出金を負担する施設維持管理適正化事業の検討を行っていく。③廃ビニールの処理については国頭村、豊見城市、南城市他10市町村において補助がされている。今後、中部地区市町村と連携を図り、廃ビニール等の処理のための協議会を立ち上げていく必要があると考えている。

質問 県道33号線工事も完了に近くなっているが、この工事によって地域がダム化すると、早急な対策を訴えたところであるが、その後どのような対策が検討されたのか伺う。

答弁 松田建設部長 現時点での排水断面としては十分足りているが、今後は冠水被害が拡大する可能性もあり、調査計画を立てて実施計画に結びつけていきたい。

一般質問



- 一 中城湾港新港地区の港湾計画変更について
 - 二 農地法の見直しについて
 - 三 本市の騒音・振動・悪臭・規制地域の見直しについて
 - 四 児童保育について
- 照屋 義正
てるや よしまさ

一 中城湾港新港地区の港湾計画変更について
質問 新港は2300億円余で整備され、全体で126社が立地し、約3000人の雇用が創出されているが、多目的公園等を整備し、国際見本市や県の産業まつり等が展開されることにより、工業団地の評価も高まり、企業立地が図られ、雇用に拡大される。そこで次の件について伺う。

①港湾整備の進捗状況について。
 ②航路・泊地の浚渫土砂の処理計画について。
 ③県営多目的公園の整備について。

答弁 上問經濟部参事 ①国は中城湾港を重点港湾に選定し、来年度から集中的に整備する。②泡瀬埋立が大臣承認を受け次第、工事を再開する。承認が得られない場合でも土砂の一時仮置き等を行い、供用開始の遅れを解消する。③多目的公園の整備については県と調整していく。

二 農地法の見直しについて
質問 総理大臣は農業への新規参入を促すため農地法の改正を表明した。市では農地取得は30aが下限面積だが、10aに緩和する検討をしてはどうか。その事により荒蕪地の解消と併せて食糧自給率の向上にもつながる。従って農地を守るより活かす視点に立って次の件について伺う。①市農地の総面積について。②市遊休荒蕪地面積につ

いて。③農地取得下限面積30aを10a(300坪)への規制緩和による農業振興について。
答弁 島袋経済部長 ①総面積2121ha ②荒蕪地面積約96ha
答弁 與古田農業委員会事務局長 ③30aを10a(300坪)に下げるとは厳しいが、農業委員会で議論する。

三 本市の騒音・振動・悪臭・規制地域の見直しについて
質問 本市の騒音・振動・悪臭・規制地域の見直しについて伺う。

答弁 登川市民部長 特に悪臭に関しては、ABC区域を設定し、全市域規制の網をかける。質問のある具志川・屋慶名間も規制をかける。

四 児童保育について
質問 児童保育について。①児童保育の現状と今後の対策について。②預かり保育定員オーバーの対応について。③預かり保育18時迄の時間延長について。

答弁 根路銘福祉部長 ①児童館3ヶ所で81名、補助要件を満たす民営15施設で699人、補助要件に満たない民営13施設があり、任意に連絡協議会を設置し、全面的に支援している。

答弁 森根指導部長 ②今後ニーズに応じていけるよう配慮したい。③他市町村も18時迄預かっており関係機関と調整したい。

◆ 写真の提供について(お願い) ◆

うるま市議会では、旧具志川市議会史に引き続き旧石川市議会史を平成24年3月に発刊する予定で編集作業を行っています。



つきましては、旧石川市の写真(議会・行政・歴史的関係等)がございましたら、是非ご提供くださいますようお願い致します。

ご連絡先：うるま市議会事務局内 議会史編さん室
 電話：973-3511 (内線 1413)

平成22年11月第58回うるま市議会臨時会議決結果

| 議案番号 | 案 件 名 | 議決結果 |
|--------|--|----------------|
| 報告第21号 | 専決処分の報告について（車両事故） | 報 告 |
| 議案第76号 | うるま市職員の給与に関する条例及びうるま市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例 （沖縄県人事委員会の給与改定に関する勧告を考慮し、市職員の給与を改定するための条例改正） | 原案可決 （賛成多数） |
| 議案第77号 | うるま市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 （一般職員との均衡を考慮し、特別職の市長等の期末手当の支給割合を引き下げる条例改正） | // |
| 議案第78号 | うるま市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 （うるま市職員の給与に関する条例の改正に伴う条例改正） | 原案可決 |
| 議案第79号 | 損害賠償額を定め和解することについて | // |

平成22年12月第59回うるま市議会定例会議決結果

| 議案番号 | 案 件 名 | 議決結果 |
|-----------|---|----------------|
| 発議第17号 | TPP交渉への参加に関する意見書 | 原案可決 |
| 報告第22号 | 専決処分の報告について（下水道管等撤去請求調停事件） | 報 告 |
| 報告第23号 | 専決処分の報告について（水路転落事故） | // |
| 議案第80号 | 平成22年度うるま市一般会計補正予算（第4号） （補正額：766,821千円 補正後予算：45,829,382千円） | 原案可決 |
| 議案第81号 | 平成22年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） （補正額：16,951千円 補正後予算：18,725,257千円） | // |
| 議案第82号 | 平成22年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第2号） （補正額：5,540千円 補正後予算：7,352,270千円） | // |
| 議案第83号 | 平成22年度うるま市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号） （補正額：0千円 補正後予算：2,362,602千円 予算の組み換え） | // |
| 議案第84号 | あらたに生じた土地の確認について（金武湾港（伊計地区）） （公有水面埋立竣工認可による土地 2,663.38㎡の確認） | // |
| 議案第85号 | 字の区域の変更について（金武湾港（伊計地区）） （公有水面埋立竣工認可による土地 2,663.38㎡の与那城伊計区域への編入） | // |
| 議案第86号 | 土地の取得について（饒辺地区市営団地建設用地購入事業） （取得面積 7,211.34㎡ 取得予定価格 124,637,695円） | // |
| 議案第87号 | 饒辺団地A棟建設工事（建築）請負契約について （契約金額 307,692,000円） | // |
| 議案第88号 | 饒辺団地B棟建設工事（建築）請負契約について （契約金額 325,647,000円） | // |
| 議案第89号 | うるま市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 （年次有給休暇の付与単位を暦年から年度に変更するための条例改正） | // |
| 発議第18号 | 「義務教育費国庫負担」堅持及び2分の1復元を求める意見書 | // |
| 発議第19号 | うるま市議会議員定数条例の制定について（30人） | 原案可決 （賛成多数） |
| 陳 情 第 1 号 | 田場区内排水路整備に関する陳情書 | 採 択 |
| 陳 情 第 2 号 | 「義務教育費国庫負担」堅持及び2分の1復元を求める陳情 | // |
| 報 告 | うるま市民生委員推薦会委員の推薦について（下門勝） | 推 薦 |